

倉敷市営繕工事週休 2 日工事特記仕様書

本工事は、倉敷市営繕工事週休 2 日工事の対象工事であり、実施に当たっては、本特記仕様書によるほか、別に定める倉敷市営繕工事週休 2 日工事実施要領に基づき実施するものとする。

1 定義

- (1) 「週休 2 日」とは、通期の週休 2 日及び月単位の週休 2 日のことをいう。
- (2) 「通期の週休 2 日」とは、対象期間において、4 週 8 休以上の現場閉所（現場休息）を行ったと認められる状態をいい、「月単位の週休 2 日」とは、対象期間において、全ての月で 4 週 8 休以上の現場閉所（現場休息）を行ったと認められる状態をいう。
- (3) 「週休 2 日工事」とは、週休 2 日を実施する工事をいう。
- (4) 「対象期間」とは、工事着手日（現場に継続的に常駐した最初の日）から工事完成日（工事完成届提出日）までの期間をいう。なお、年末年始 6 日間、夏季休暇 3 日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は含まない。
- (5) 「現場閉所」とは、巡回パトロールや保守点検等を除き、現場事務所での作業を含めて 1 日を通して現場が閉所された状態をいう。
- (6) 「現場休息」とは、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて 1 日を通して現場作業が無い状態をいう。
- (7) 「4 週 8 休以上」とは、対象期間内の現場閉所（現場休息）の日数の割合（以下、「現場閉所（現場休息）率」という。）が、28.5%（8 日／28 日）以上の水準に達する状態をいう。なお、現場休息率の算出において、降雨、風雪等による予定外の閉所についても、現場閉所（現場休息）の日数に含めるものとする。

2 実施方法

- (1) 受注者は、工事着手前に週休 2 日の取得計画が確認できる「現場閉所（現場休息）予定日」を記載した「休日等取得計画実績表」（以下「計画表」という。）を作成し、監督員に提出するものとする。
- (2) 受注者は、工事着手後に、工程計画の見直し等が生じた場合には、その都度、計画表を提出するものとする。
- (3) 受注者は、施設管理者の承諾を前提に週休 2 日工事である旨を工事看板・囲い等で現場に掲示するものとする。
- (4) 受注者は計画表に現場閉所（現場休息）の実績を記入し、毎月初め及び工事完成時に監督員に提出しなければならない。

- (5) 受注者は、天候等によりやむを得ず休日に作業を行う必要が生じた場合、振替日を設定し、事前に監督員と協議するものとする。なお、振替日は作業を行う休日の前後2週間以内に設定するものとする。

3 設計変更

- (1) 監督員は受注者が作成する計画表等により、対象期間内の現場閉所（現場休息）日数を確認する。
- (2) 通期の週休2日を前提に補正係数1.02により労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費）を補正して予定価格を作成しており、発注者は、現場閉所（現場休息）の状況を確認し、月単位の週休2日を達成した場合は、補正係数を1.04に読み替えて請負代金額を増額変更し、週休2日を確保できなかった場合は、補正係数を1.0に読み替えて請負代金額を減額変更する。